

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名				
06603	農業集落排水施設運営管理・維持事業	建設水道課	農集排担当	増澤 秀行	宮澤 治				
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 30 日	連絡先(内線)	2167				
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分			事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
		<input type="checkbox"/>	一般	<input checked="" type="checkbox"/>	特別	5710	農業集落排水総務事務		
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別		#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)			3章	夢のある地域形成		
		節	(コード選択)			1節	町の基盤を整備する		
		項[基本施策]	(コード選択)			314	下水道の普及		
主な取り組み		(コード選択)			3143	施設の維持管理			
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他	
事務期間	(開始)	6 年度	~	(終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

農業集落排水処理施設及び利用者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

集落内の河川等の水質を保全し、清らかな水を守り快適な農村活動を支えるとともに、そのために施設の適切な維持管理を行う。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 処理場の運営管理・保守点検の実施
- 処理水の水質検査の実施
- 設備点検の監督
- 未接続世帯への接続促進

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	処理施設の日常点検日数	日	204	204	204		204
	説明	維持管理会社の設備保守点検日数	目標値設定の根拠	18年度発注時契約日数				
②	指標名	水質検査回数	回	60	60	60		60
	説明	水処理場放流水の法定項目水質検査回数	目標値設定の根拠	18年度発注時契約回数				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	放流水BODの最大値	mg/l	1.7	33	10		10
	説明	水処理場放流水のBOD濃度最大値	目標値設定の根拠	計画放流水質(20mg/l)の1/2を目標とする				
②	指標名	集落内水洗化率	%	95	95	96		97
	説明	農業供用集落の水洗化率	目標値設定の根拠	下横川・沢底・北部・北部西・上横川接続人口/住民台帳人口				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度															
			決算	決算	見込み	見込み															
対前年比		%		98.6	130.5	99.2															
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			29,341	28,938	28,844	28,750															
B) 一般財源(税金)			0	0	8,927	8,715															
①事業費		(千円)	22,564	22,208	31,092	30,786															
対前年比		%		98.4	140	99															
②人件費の概算		(千円)	6,777	6,730	6,679	6,679															
対前年比		%		99.3	99.2	100															
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費										
			H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23									
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.79	0.79	0.79	0.00	0.00	0.00	0.79	0.79	0.79	6,777	6,730	6,679	6,679
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0	0	0	0						

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 公共・特環・農集一括してのマンホールポンプ維持管理委託
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 維持管理連絡会を通じて把握する

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

処理場の維持管理については、平成19年度に3年契約で一本化した。また、マンホールポンプの維持管理についても公共・特環下水道と一元化した3年契約での委託とした。処理場の維持管理委託は、平成22年度も3年契約予定。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

平成22年度に農集排施設の適正な維持管理のための機能診断調査を行い、長期的な視点から「最適整備構想」を策定する。

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

委託料として11,000千円の計上

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

施設の老朽化に伴い、維持管理費の増大が見込まれる。最適整備構想を策定し、費用の平準化を図る。将来的には、公共下水道に接続可能な地区は公共に接続する。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択